

ごみ・リサイクルに関するトピックス

「3010 (さんまるいちまる) 運動」を実践しよう!

「3010運動」とは、宴会時の食べ残しを減らすためのキャンペーンで、<乾杯後30分間>は席を立たずに料理を楽しみましょう。<お開き10分前>になったら、自分の席に戻って、再度料理を楽しみましょう。と呼びかけて、食品ロスを削減するものです。

【豊中市環境部宴会7箇条】

- 【其一】 まずは、適量注文
- 【其二】 幹事さんから「おいしく食べよう!」の声かけ
- 【其三】 開始から30分、終了前10分は、席を立たずにしっかり食べる「食べきりタイム!」
- 【其の四】 小食の方は大食の方の隣に座ろう
- 【其の五】 メインを食べるときは事前に副菜を
- 【其の六】 食べきれない料理は途中で分け合おう
- 【其の七】 それでも、食べきれなかった料理は、お店の方に確認して持ち帰りましょう

国民運動「COOL CHOISE (クールチョイス)」市長宣言

国民運動「COOL CHOISE (クールチョイス)」とは、我が国の温室効果ガス削減目標を達成するために、省エネ・低炭素型の製品・サービス・行動など、温暖化対策に資する、また快適な暮らしにもつながるあらゆる「賢い選択」を促す取組みで、国の主導により実施されています。



長内茂樹豊中市市長は、地球温暖化対策の取組みをより一層推進するため、国民運動「COOL CHOISE (クールチョイス)」に賛同し、平成31年(2019年)4月15日に宣言を表明しました。

【取組み項目】

- 住まいの省エネ・創エネ化を促進します
- 太陽光など再生可能エネルギーの活用を促進します
- クールビス・ウォームビスを推進します
- 公共交通・自転車等の利用促進を図ります
- エコドライブを推進します
- 廃棄物の発生抑制・再使用と質の高いリサイクルを推進します
- マイバッグやマイボトルを推奨し、ワンウェイプラスチックの削減に取り組みます
- 環境教育・学習を推進します

大量の災害廃棄物が発生!

～災害時、家財道具は、転倒や落下による事故や避難の妨げとなります。不用品は事前に処分し整理整頓を心がけましょう。～

昨年は、大阪府北部地震(6月18日)、台風第21号(9月4日)といった自然災害にみまわれ、本市も大きな被害を受けました。家屋の倒壊や損壊、家財の破損等による災害廃棄物が大量に発生したため、市民生活の環境保全と公衆衛生の確保を最優先に処理を行いました。今後も、この経験を活かし、災害時対応の強化に努めていきます。

災害廃棄物発生量(推計)
大阪府北部地震・・・約620トン
台風第21号・・・約930トン
(※)解体家屋から発生した
がれきり類は、含んでおりません。



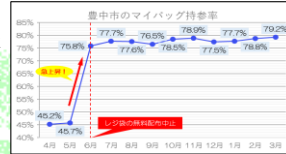
プラスチックから海洋生物を守ろう!

プラスチックは、経済社会に浸透し、利便性と恩恵をもたらした素材である一方、自然分解されないため、海に流出すると長期間にわたり残留します。このままでは海洋プラスチックごみが2050年までに魚の量を上回ることが予想されるなど、地球規模での環境汚染が懸念されています。このような状況のなか、我が国においても、本年5月に策定された「プラスチック資源循環戦略」では、2030年までの目標として、ワンウェイプラスチックを累積25%排出抑制することなどを掲げており、豊中市においても、ワンウェイプラスチックの削減に取り組んでいきます。



お買い物時にはマイバッグを持参しましょう!

ごみと温室効果ガスの排出削減を目的に、北摂7市3町とその地域にある食品スーパーはマイバッグ持参率80%を目標とする「北摂地域におけるマイバッグ等の持参促進及びレジ袋削減に関する協定」を締結しています。



協定締結事業者一覧表

- イオンリテール株式会社近畿カンパニー / イズミヤ株式会社
- 株式会社いかりスーパーマーケット
- 株式会社関西スーパーマーケット
- 株式会社光洋 / 株式会社阪急オアシス / 株式会社ハートフレンド
- 株式会社平和堂 / 株式会社万代
- 株式会社ライフコーポレーション / 生活協同組合コープうべ

地域のイベントでフードドライブを実施しませんか!

豊中市では、ご家庭で余っている食品ロスを有効活用するために、フードドライブを地域のイベント等で実施しています。集まった食品は豊中市社会福祉協議会を通じて、それを必要としている福祉団体や施設に配布しています。



地域のイベント等で実施をお考えの方は気軽に下記担当までご連絡ください。

『ごみ分別アプリ さんあ〜る』

ユーザー数
14,200人突破!

地域のごみ収集日がカレンダー形式で表示されたり、アラームで収集日をお知らせする機能もあります! 番々とユーザー数が増えています。



android用

iphone用

令和元年(2019年)7月

げん ハッピー(8%)ごみ減量プラン (第4次豊中市ごみ減量計画)

令和元年7月11日
第3回審議会
資料 2-1



平成30年度(2018年度) 事業等報告書 速報版

ハッピー(8%)ごみ減量プラン事業等報告書速報版は、当プランの年度ごとの進捗状況を速報版としてまとめたもので、ごみの状況をみなさまにわかりやすく紹介するとともに、ごみ減量施策の進捗状況に対し、みなさまからご意見をいただき、今後の事業展開に活かすことを目的としています。

【ハッピー(8%)ごみ減量プラン(第4次豊中市ごみ減量計画)の概要】

○計画期間
平成30年度(2018年)から令和9年度(2027年)

基本理念は



○協働で取り組む循環型社会の構築

基本施策は



○廃棄物の減量に向けた発生抑制・再使用と質の高いリサイクル(再生利用)の推進

優先的な 取り組み内容は



- 食品ロス削減に向けた取組み
- 発生抑制・再使用の推進
- 再生資源集団回収の推進
- ごみ減量に向けた情報提供
- 多量排出事業者におけるごみ減量の促進
- 搬入物調査の活用

【ハッピー(8%)ごみ減量プラン(第4次豊中市ごみ減量計画)の減量目標】

減量目標

ごみの焼却処理量を令和9年度(2027年度)には
平成28年度(2016年度)実績より **8% 削減**

平成28年度(2016年度)
約104千t / 年



令和9年度(2027年度)
約95千t / 年

個別目標

家庭系ごみ1人1日当たり量(再生資源除く)

平成28年度(2016年度)
約41.4g / 人 / 日

約28g 削減

令和9年度(2027年度)
約38.6g / 人 / 日

事業系ごみ量(再生資源除く)

平成28年度(2016年度)
約43千t / 年

約5千t 削減

令和9年度(2027年度)
約38千t / 年

リサイクル率

平成28年度(2016年度)
約15.7%

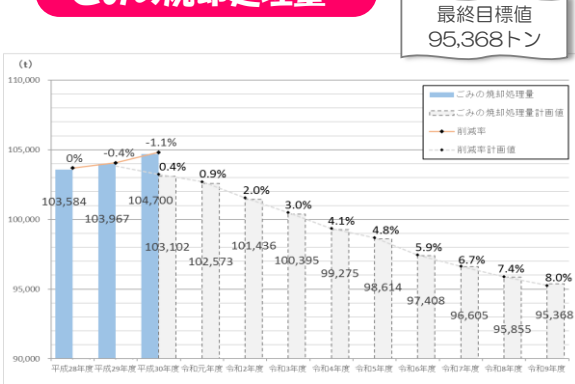
約3.6% 増加

令和9年度(2027年度)
約19.3%



平成30年度(2018年度)のごみ減量の進捗状況

ごみの焼却処理量



最終目標値
95,368トン

平成29年度 103,967トン → 平成30年度 104,670トン

要因分析

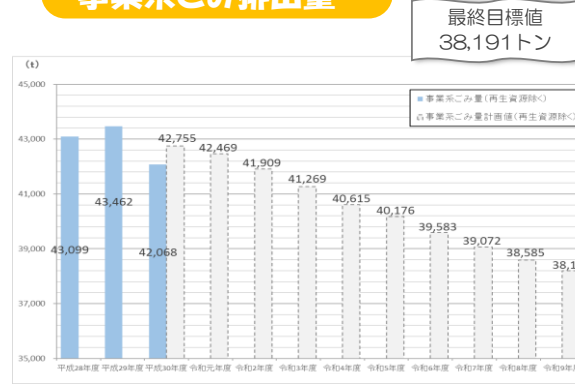
「ごみの焼却処理量」は平成29年度(2017年度)と比較して微増傾向となっています。これは平成30年度(2018年度)に発生した災害により、家庭系ごみの増加が要因と推察されます。

審議会からの評価

今後は、「第4次豊中市一般廃棄物処理基本計画」及び「第4次豊中市ごみ減量計画」に基づき、可燃ごみに多く含まれる「食品ごみ」「紙ごみ」の減量などに重点的に取り組んでいくことが望まれます。

・ごみの焼却処理量・・・豊中市伊丹市クリーンランドにおいて焼却処理されるごみの年度合計量
・削減率・・・平成28年度のごみの焼却処理量を基準とした年度ごとの削減比率

事業系ごみ排出量



最終目標値
38,191トン

平成29年度 43,462トン → 平成30年度 42,068トン

要因分析

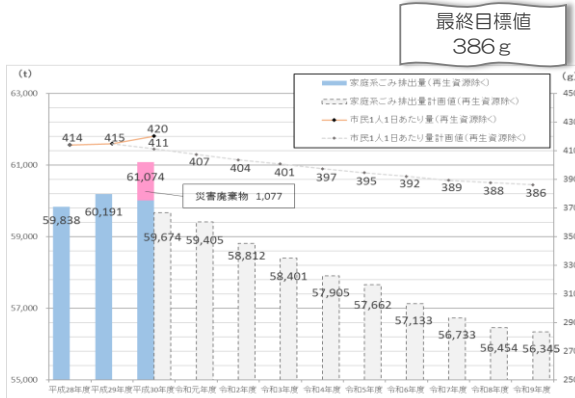
「事業系排出量」の減少については、事業者団体等の事業系再生資源回収システムの構築やごみ処理施設での搬入物検査を充実するなどの取組みにより可燃ごみの排出量が減少したことが主な要因と推察されます。

審議会からの評価

減量目標の達成に向け、事業活動に伴い排出されるごみの減量・適正処理を推進するため、ごみの減量につながる情報を発信するなどの取組みを進める必要があります。

・事業系ごみ排出量・・・豊中市伊丹市クリーンランドへの事業系ごみ搬入量(再生資源を除く)の年度合計量

家庭系ごみ排出量・市民1人1日あたりの量



最終目標値
386g

家庭系ごみ排出量
平成29年度 60,191トン → 平成30年度 61,074トン
市民1人1日あたりの量
平成29年度 415グラム → 平成30年度 421グラム

要因分析

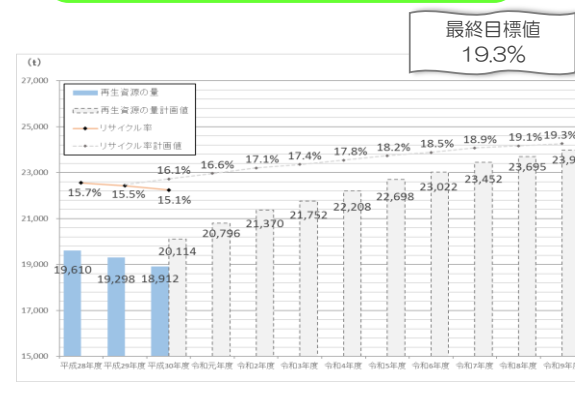
「家庭系ごみの排出量」及び「市民1人1日あたり量」は平成29年度(2017年度)と比較して増加傾向となっています。これは平成30年度(2018年度)に発生した災害によるごみの増加が要因と推察されます。

審議会からの評価

「家庭系ごみ排出量」の削減に向け、引き続き市民に対し、講座やイベント、冊子等による啓発活動及び情報発信を行うなど、ごみ減量に対する意識の向上を図る必要があります。

・家庭系ごみ排出量・・・豊中市伊丹市クリーンランドへの家庭系ごみ(可燃・不燃・粗大ごみ)搬入量(再生資源を除く)の年度合計量
・市民1人1日あたり量・・・豊中市伊丹市クリーンランドへの家庭系ごみ(可燃・不燃・粗大ごみ)搬入量(再生資源を除く)の市民1人1日あたり量

再生資源の量・リサイクル率



最終目標値
19.3%

再生資源の量
平成29年度 19,298トン → 平成30年度 18,912トン
リサイクル率
平成29年度 15.5% → 平成30年度 15.1%

要因分析

「リサイクル率」の減少については、紙・布の回収量の減少や平成30年度(2018年度)に発生した災害によりごみの総量が増加したことが主な要因と推察されます。また、「再生資源の量」に減少については、レジ袋の無料配布中止等による発生抑制・再使用の取組みが要因の一つとして推察されます。

審議会からの評価

廃棄物の減量に向けた発生抑制・再使用を推進するとともに、適正な分別排出を促進するため、ごみ分別・排出に関する広報周知活動を展開する必要があります。

・再生資源の量・・・家庭系及び事業系ごみのうち資源化されるごみの合計量
・リサイクル率・・・ごみの総量(再生資源含む)に対する家庭系及び事業系ごみのうち資源化されるごみの合計量の割合

平成30年度(2018年度)の取組み

第18回ごみ減量フォーラムを開催しました!

平成31年(2019年)3月24日(日)豊中市立文化芸術センターにて「第18回ごみ減量フォーラム」を開催しました。テーマを「若者世代から発信~これからの食品ロス削減~」として、高校生2組から「Let's地球改革」と題して「食品ロスとSDGs」等についてや、「食品ロス対策プロジェクト」と題して「幼稚園での環境学習」等について発表がありました。また、発表を行った高校生2組に事業者、行政を加え、「食品ロス」について、パネルディスカッションを行いました。



「犬ふんチョコク」を始めました。



豊中市では、道路等での犬ふんの放置をなくするため、平成30年(2018年)11月から「犬ふんチョコク作戦」を始めました。これまでの主な犬ふん放置対策は看板の設置でしたが、「犬ふんチョコク作戦」では、放置された犬ふんの周囲をチョコクで囲むことにより、飼い主に直接的に訴えかけたことで、犬ふんを放置されることが劇的に減っているようです。

搬入物検査の充実

事業者から排出されるごみの適正処理を推進するため、ごみ処理施設において、実施していた展開検査の回数を増加させるとともに、新たに目視検査を週3回実施しました。



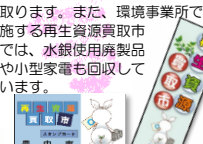
環境学習を実施しています

豊中市では、幼少期から地球環境やリサイクルについての意識を高め、環境にやさしい行動を自ら実践できるよう支援するため、市内の小学校やこども園等に職員を派遣し、ごみやリサイクルに関する環境学習を実施しています。平成30年度(2018年度)は、小学校39校、こども園等22園で環境学習を行いました。



買取市を実施しています

家庭から出る再生資源(古紙、缶、布類)を開催場所に直接持ち込むと、重さに応じて設定した価格で市に登録している回収業者が買い取ります。また、環境事業所で実施する再生資源買取市では、水銀使用廃品や小型家電も回収しています。



※各グラフの数値については速報値です。